

2020 年 8 月 4 日

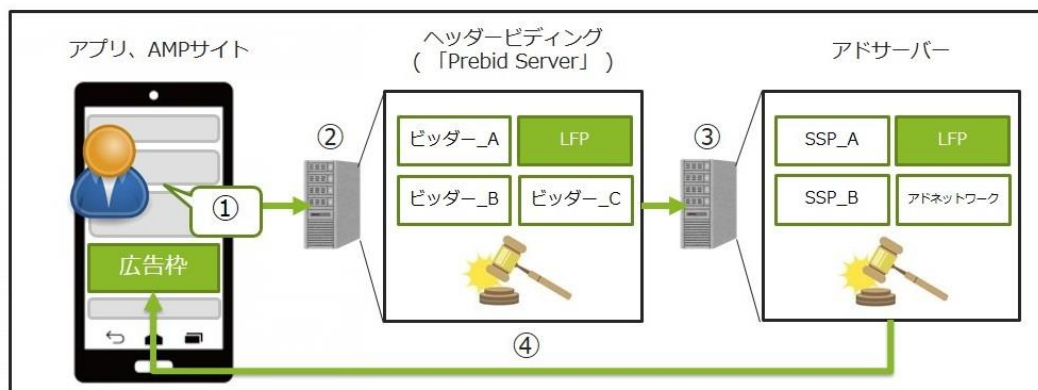
SMN 株式会社

「Logicad for Publishers」、ヘッダービディングによる モバイルアプリと AMP ページへの広告配信を開始 ～大手メディアを中心に導入が進む、新たな取引手法～

SMN 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 隆一、以下 SMN）は、「Logicad for Publishers」（以下 LFP）におけるモバイル広告取引の強化を目的に、ヘッダービディング（*1）によるモバイルアプリと AMP（*2）ページへの広告配信を開始いたします。

LFP は、広告主ごとの要望に合わせた、独自の広告枠の買付、プランニングを実現するサービスです。媒体社との連携により、DSP（*3）「Logicad」を介し効果的な広告枠を提供しています。昨年 9 月よりヘッダービディングによる広告配信も対応し、現在までに 300 以上のメディアとの広告配信実績があります（2020 年 7 月末時点）。現在ヘッダービディングを中心に、モバイルユーザー向けの広告配信の利用が広がるなか、広告主、媒体社からの要望に応え、今回の開始に至りました。

■イメージ図



- ① 「Prebid Server」を利用しているアプリ、AMPサイトにユーザーが訪れ、リクエストが発生
- ② ビッダー各社で入札が行われ、落札案件情報が媒体社のアドサーバーに送られる
- ③ アドサーバー内で、②の落札案件とアドサーバー内の案件で入札が行われる
- ④ 最終的に落札された案件がアプリ、AMPサイトの広告枠に配信される

今回のモバイルアプリと AMP 対応により、広告主は、多くのモバイルユーザーへのリーチが可能となり、配信の機会が向上します。さらに、連携する媒体社が限定されていることから、個々の商材やブランドイメージに沿った配信先の広告枠も確保され、ブランド価値毀損を防止します。

一方、連携する媒体社も、取り扱うモバイルページに LFP を導入することで、モバイルアプリ広告、AMP ページの収益の向上が見込めます。

SMN は、今後も多様化する広告配信の要望に対して、積極的にサポートしていくことで、企業のデジタルマーケティングの最適化を支援します。

以 上

***1 ヘッダービディング**

複数のビッター（ヘッダービディングに参加している広告配信企業）による公平な入札競争を行うことで、媒体社が運営するメディアに単価の高い広告を優先的に配信することができる仕組みです。媒体社にとって透明性が高く、収益改善が期待できるソリューションとして、大手メディアを中心に導入が進んでいます。

***2 AMP (Accelerated Mobile Pages)**

Google を中心とした複数の企業で進められている、モバイルページ表示の高速化を実現するプロジェクトのこと。AMP 対応したページは、HTML をあらかじめサーバー側でキャッシュすることで、モバイル端末からアクセスしたページの表示速度を大幅に短縮します。「Logicad」では AMP ページに向けた最適化配信を行っており、AMP ページに向けた広告表示の最適化が実現されます。

***3 DSP (Demand Side Platform)**

広告主の広告配信効果を最適化するためのプラットフォーム。

■ SMN 株式会社 < <https://www.so-netmedia.jp/> >

2000 年 3 月に設立。ソニーグループで培った技術力をベースに、マーケティングテクノロジー事業を展開しています。「技術力による、顧客のマーケティング課題の解決」を実現するため、ビッグデータ処理と人工知能のテクノロジーを連携し進化を続けています。

現在、DSP「Logicad」、マーケティング AI プラットフォーム「VALIS-Cockpit」をはじめ、実店舗事業者向けマーケティングプラットフォーム「Marketing Touch」を提供することで、マーケティングに関する様々な課題解決を実現しています。

※記載されている会社名、団体名、商品名、サービス名は各社、各団体の商標または登録商標です。

＜本件に関する問い合わせ先＞

SMN 株式会社

コーポレートカルチャー & リレーション推進課 広報担当

TEL: 03-5435-7944 / E-Mail: pr@so-netmedia.jp